

第二期武蔵野市スポーツ推進計画(仮称)中間のまとめ

2. これまでの取組の実績と評価 参考資料
(2) 実現化方策

◎実施・実施後継続中
○事業の一部を実施・実施後継続中
★完了(実施後継続を伴わないもの)
■検討・研究中
▲未着手

◎実施・実施後継続中
○事業の一部を実施・実施後継続中
★完了(実施後継続を伴わないもの)
■検討・研究中
▲未着手

【第4章】実現化方策	平成27年9月4日付け照会結果						令和3年4月7日付 照会結果			
	スポーツ振興計画 事業概要	所管課	実施状況		進捗 状況	実績の評価と今後の取組	平成27年度～令和2年度の実績 (2015年度～2020年度)	進捗 状況	実績の評価と今後の取組	
			平成20年度の状況	平成21年度～26年度の実績						
1 情報提供の充実 【伝える】										
(1) 市民ニーズの的確な把握・整理										
①市民ニーズの把握										
1	イベント時のアンケート	各イベント時に、市民のニーズ聴取をし、今後のスポーツ振興や健康づくりにかかわる企画・運営に反映させます。	関係各課	各イベント時にアンケートを実施。	武蔵野生涯学習振興事業団で実施するイベント・教室等でアンケートを実施した。	◎	今後も継続して実施する。	武蔵野生涯学習振興事業団で実施するイベント・教室等でアンケートを実施した。	◎	毎年新規事業企画の山行にしている。今後も継続して実施する。
2	定期的な市民ニーズの把握に関する調査	より実効性の高いスポーツ振興を図るため、定期的に市民ニーズを把握する調査を行います。	生涯学習スポーツ課		大規模なアンケート調査は実施していないが、常時総合体育館等にご意見箱を設置し市民の声を武蔵野生涯学習振興事業団の運営に反映している。	○	平成27年度計画改定に伴い、東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ日本開催の影響も含めスポーツ市民意識調査を実施した。毎年実施しているモニタリングのアンケート調査なども活用し、今後も市民ニーズを把握していく。	毎年、指定管理モニタリングとして体育施設利用者へアンケート調査を行っている。館内にはご意見箱があり、随時利用者からのご意見をお寄せいただいている。令和2年度には、スポーツ振興計画の改定に向けて、運動・スポーツに関するアンケート調査を実施した。	◎	引き続き市民ニーズを把握していく。
3	イベント等におけるアンケート調査の実施	市やスポーツ団体が主催するスポーツイベント等において、アンケートやヒアリング等を適宜行い、市民のニーズを市のスポーツ振興に反映させます。	生涯学習スポーツ課		武蔵野生涯学習振興事業団で実施するイベント・教室等でアンケートを実施した。	◎	今後も継続して実施する。	市や武蔵野生涯学習振興事業団が主催するイベント・スポーツ教室において参加者へアンケートを実施している。	◎	ニーズの把握、事業の見直しや改善のため、引き続きアンケートを実施していく。
②市民が有するスポーツ情報の収集・整理										
1	健康づくり活動情報誌(再掲)	毎年、健康づくり活動情報誌に掲載する健康づくり活動団体を募集します。健康づくり活動情報誌は、40歳以上の市民が自分にあった健康づくり活動を探し助けとなるよう、市内で行われている健康づくり活動を紹介しています。	健康づくり支援センター	年1回募集。平成20年度健康づくり活動団体数63	平成22年度より市関連施設及び健康づくり支援センター事業の紹介を追加掲載。活動情報誌に関する市民意見等のアンケートを折り込み。健康づくりのポイントカードを添付。健康づくりはつらつメンバー全員に送付。平成26年度健康づくり活動団体数52。	◎	平成27年度より活用対象を40歳以上から20歳以上に変更。はつらつメンバーへの送付による配布数の増。市内講座等において健康づくり推進員より活動情報誌活用PR及び掲載活動団体の紹介も行き、活用促進への取組みを行っている。アンケート結果等により見直しも実施予定。	平成28年度からA4版サイズ→A5版サイズに、30年度からは前頁カラー版に仕様変更。健康づくり応援パートナー店の利用特典(クーポン)を掲載し、健康づくりはつらつメンバー特典とした。元年度は健康づくりはつらつメンバー向けに「私の健康づくり自慢」募集記事を掲載。	★	市民及び健康づくりはつらつメンバーへの健康づくり支援として、アンケート調査でも高い評価を得てきたが、新型コロナウイルス拡大の影響もあり、情報が不確定な状況下での年1回4月のみの紙ベースでの発行は見直し、令和3年度版の発行は見合わせとした。健康づくり活動情報誌の発行に代え、令和3年度よりホームページを刷新し、健康づくり推進員とともにタイムリーかつ効果的に情報発信を行っていくとともに、ホームページが閲覧できない方へは紙ベースでの情報提供も対応し、関心の高い層への情報発信も工夫して行っていく。
(2) スポーツの魅力伝える情報提供										
①市民ニーズに応じた情報の整理・発信										
1	スポーツ関連団体等ホームページの充実	スポーツ関連団体等ホームページの充実 ・スポーツ振興事業団ホームページのリニューアル ・体育協会ホームページの活用	体育協会		各加盟団体の紹介や、市民の参加できる大会の案内など掲載し充実をはかった。	◎	利用者にわかりやすいものにするため、体育協会内でワーキングをつくり平成27年度10月に一部リニューアルした。	令和3年2月にホームページのリニューアルを行い、セキュリティの強化と視認性を高めた。市民体育大会等の大会や研修・講習会などの新着スポーツ情報や、加盟団体の紹介ページ、各種書式など掲載している。	◎	体育協会加盟団体や一般参加者の方々にとってわかりやすい、使いやすい情報提供に取り組んでいく。
			武蔵野生涯学習振興事業団	(記載なし)	平成22年度に全面的に改定した。教室への予約システムも組み込み、市民の利便性を向上させた。	◎	今後もフェイスブックやツイッターとも併用し、多くの情報を市民に提供していく。	令和元年度にHPをリニューアルした。総合体育館、武蔵野プレイスに加え、野外活動センター、吉祥寺図書館のページを追加し、事業団TOPページからも施設をまたいでイベントが検索出来るように修正した。	◎	市民のニーズに応えたHPのリニューアル等を実施することができた。今後も市民に魅力ある情報を提供できるよう情報の整理・発信を行う。
			生涯学習スポーツ課		市報に掲載する指定管理事業を含めた全ての教室・イベント等の案内をカレンダー方式でホームページに掲載している。関係団体のホームページへのリンクもはり、より分かりやすい工夫をした。	◎	今後も武蔵野生涯学習振興事業団や体育協会と連携して、わかりやすい案内をめざしていく。	◎	市報に掲載する主催教室・イベント等は市ホームページに掲載している。その他、施設のご案内や、障害のある方へ向けたページなど、掲載する情報を増やしてきた。	◎
2	スポーツ・野外活動情報誌「DO Sports!」	スポーツ振興事業団の年間を通した各教室・プログラムの紹介及びスポーツ施設の紹介をします。	武蔵野生涯学習振興事業団	市立小・中学校へ配布。	毎年度発行。平成26年度は7万9千部発行、内新聞折り込みを5万7千部実施。多くの方に情報を提供した。	◎	今後も継続して実施していく。	毎年度発行している。令和元年度からは、市内に約85,000部を全戸配布している(市報と同規模)。2020年度版から、障がい者スポーツ教室やバリアフリー情報を一目でわかるように、障がいのある方へ向けたページを新設した。	◎	毎年度、市民に向けて1年分のスポーツ事業と野外活動事業の情報を1冊にまとめて提供することができた。今後も継続して実施していく。
			生涯学習スポーツ課		全校生徒・児童に学校を通じて配布している。	◎	今後も継続して実施していく。	全戸配布に変更したため、市立小中学校の児童・生徒への配布は実施しなかった。	◎	引き続き公共施設での配布やSNSなどでのPRを続けていく。

2. これまでの取組の実績と評価 参考資料
(2) 実現化方策

◎実施・実施後継続中
○事業の一部を実施・実施後継続中
★完了(実施後継続を伴わないもの)
■検討・研究中
▲未着手

◎実施・実施後継続中
○事業の一部を実施・実施後継続中
★完了(実施後継続を伴わないもの)
■検討・研究中
▲未着手

【第4章】実現化方策		スポーツ振興計画 事業概要	所管課	平成27年9月4日付け照会結果			令和3年4月7日付 照会結果					
				実施状況		進捗 状況	実績の評価と今後の取組	平成27年度～令和2年度の実績 (2015年度～2020年度)	進捗 状況	実績の評価と今後の取組		
				平成20年度の状況	平成21年度～26年度の実績							
3	健康づくり活動情報誌(再掲)	毎年、健康づくり活動情報誌に掲載する健康づくり活動団体を募集します。健康づくり活動情報誌は、40歳以上の市民が自分にあった健康づくり活動を探す助けとなるよう、市内で行われている健康づくり活動を紹介しています。	健康づくり支援センター	年1回募集。 平成20年度健康づくり活動団体数63	平成22年度より市関連施設及び健康づくり支援センター事業の紹介を追加掲載。平成26年度より活用対象を40歳以上から20歳以上に変更。活動情報誌に関する市民意見等のアンケートを折り込み。健康づくりのポイントカードを添付。健康づくりはつらつメンバー全員に送付。平成26年度健康づくり活動団体数52。	◎	はつらつメンバーへの送付による配布数の増。市内講座等において健康づくり推進員より活動情報誌活用PR及び掲載活動団体の紹介も行き、活用促進への取組みを行っている。アンケート結果等により見直しも実施予定。	★	平成28年度からA4版サイズ→A5版サイズに、30年度からは前頁カラー版に仕様変更。健康づくり応援パートナー店の利用特典(クーポン)を掲載し、健康づくりはつらつメンバー特典とした。元年度は健康づくりはつらつメンバー向けに「私の健康づくり自慢」募集記事を掲載。	10	市民及び健康づくりはつらつメンバーへの健康づくり支援として、アンケート調査でも高い評価を得てきたが、新型コロナウイルス拡大の影響もあり、情報が不確定な状況下での年1回4月のみの紙ベースでの発行は見直し、令和3年度版の発行は見合わせとした。健康づくり活動情報誌の発行に代え、令和3年度よりホームページを刷新し、健康づくり推進員とともにタイムリーかつ効果的に情報発信を行っていくとともに、ホームページが閲覧できない方へは紙ベースでの情報提供も対応し、関心の薄い層への情報発信も工夫して行っていく。	
②誰にでも分かりやすい情報提供 (★9:重点施策)												
1	ユニバーサルデザインの考えに基づく情報提供	市内のスポーツに関する情報について、誰にでも分かりやすいように、情報の内容と情報の伝え方のユニバーサルデザイン化を図ります。例えば、高齢者、障害者等の参加が可能なイベントかどうか、正確な情報を提供すると同時に、関係団体を通じた情報提供など、情報を届けたい人への伝達方法を工夫します。	生涯学習スポーツ課		東京都の障害者スポーツのホームページ「TOKYO障スポ・ナビ」に、武蔵野市のスポーツ施設や教室、イベント等の情報を提供し、随時更新している。	◎	今後も継続して実施していく。	◎	スポーツ・野外活動情報誌「DO Sports!」は2020版から、障害者スポーツ教室やバリアフリー情報を一目でわかるように、障害のある方へ向けたページを新設した。平成30年3月に「障害者スポーツの手引き」を発行し、市内外のスポーツ情報を掲載し福祉施設等において配布した。市ホームページに障害のある方向けのページを新設し、情報を集約し、わかりやすい情報提供に努めた。	◎	当事者や専門家の意見を聞きながら、参加しやすい環境が整うよう、情報提供をしていく。	11
③市民どうしでの情報交換の仕組みづくり												
1	総合体育館利用者掲示板	市内等各種スポーツ団体のPR用掲示板(要申請)を設置しています。	武蔵野生涯学習振興事業団	(記載なし)	PR用掲示板の活用により、スポーツを通じたなまづくりや、情報交換の仕組みづくりに効果をあげた。	◎	今後も継続するが、ホームページなどwebサイトへの掲載なども検討していく。	◎	スポーツを通じた仲間づくりや情報交換のツールとしてのPR用掲示板(総合体育館)の更新と照明器具を設置しより見やすした。	◎	PR掲示板を有効に活用できるよう更新することができた。今後は館内掲示のPRだけではなく、インターネットを活用した掲載等を早急を実施する。	12
2	青少年関連団体「みんなあつまれ」	市内登録の青少年関連団体の一覧表を作成しています。(活動内容、連絡先等明記)	児童青少年課	市内小中学校へ配布しています。	毎年度継続実施。子どもの健全育成を目的として子ども会・スポーツ・文化活動などを行う団体を毎年度登録し(約50団体)、その紹介パンフレットを作成し、市立小・中学校の全児童・生徒に配布した。	◎	団体の周知を図ることで青少年の参加を促すことにつながる。団体の育成・支援に資することができた。今後も周知・広報に取り組んでいく。	◎	毎年度継続実施。子どもの健全育成を目的として子ども会・スポーツ・文化活動などを行う団体を毎年度登録し(約50団体)、その紹介パンフレットを作成し、市立小・中学校の全児童・生徒に配布した。	◎	団体の周知を図ることで青少年の参加を促すことにつながる。団体の育成・支援に資することができた。今後も周知・広報に取り組んでいく。	13
2 連携づくり 【支える】												
(1) 横断的な連携												
①市民による自主的な取組の促進												
1	地域の運動会、ウォーキング事業、わんぱく相撲等	各地域、団体でのスポーツ活動を支援します。	関係各課(市民活動推進課記載)	社団法人武蔵野青年会議所主催の「わんぱく相撲武蔵野場所」について、武蔵野市の後援名義の使用を承認した。	社団法人武蔵野青年会議所(平成25年度からは公益社団法人)主催の「わんぱく相撲武蔵野場所」について、武蔵野市の後援名義の使用を承認した。	◎	事業の実施状況、後援名義の使用状況を確認しつつ、市政の推進に資するものであれば引き続き後援名義の使用を承認する。	◎	公益社団法人武蔵野青年会議所主催の「わんぱく相撲武蔵野場所」について、武蔵野市の後援名義の使用を承認した。	◎	事業の実施状況、後援名義の使用状況を確認しつつ、市政の推進に資するものであれば引き続き後援名義の使用を承認する。	14
②市役所内のネットワークづくり												
1	庁内ワーキングチームでの検討(再掲)	関係各課及び関連団体との連携を強化し、事業の効率的かつ円滑な運営を図ります。	生涯学習スポーツ課	体育協会スポーツ指導員	健康づくり支援センターと連携し、総合体育館で実施しているスポーツプログラムの内容を精査し事業を実施した。	◎	今後も関係課等と連携し、事業を実施していく。		【再掲】		【再掲】	15
③市、振興事業団、体協、関係機関等の連携 (★10:重点施策)												
1	市民スポーツフェスティバル(再掲)	日頃スポーツをする機会が少ない市民を対象に簡単なレクリエーションスポーツを通じてスポーツの習慣化を図るとともにレクリエーションスポーツの振興を図ります。	体育協会 生涯学習スポーツ課	年1回10月体育の日600～1,000名参加自由参加型イベント	毎年度継続実施。36競技団体の協力を得て、毎年多くの参加者がある。平成25年度からはストリート広場を会場としたスケートボード大会も同時に開催している。平成26年度の体育の日には1964年東京オリンピックから50周年を記念した聖火イベントを実施。	◎	体育協会、武蔵野生涯学習振興事業団との共催により実施。体育施設の1日無料開放も実施しており、子どもから高齢者まで多くの方が参加し、スポーツに親しむ機会を提供している。		【再掲】		【再掲】	16
2	市民体育大会・市民体育祭(再掲)	広く市民にスポーツ振興を図り健康増進と体力向上を図ります。	生涯学習スポーツ課	年2期 春・秋 35種目 各期7,000名参加 参加登録制	市民体育大会・体育祭は体育協会加盟の36の競技団体が、様々なプログラムを展開し、小学生から高齢者まで毎年多くの市民が参加している。	◎	バレーボール、サッカーなどから登山、ウォーキング、ライフル射撃、ソーシャルダンスなど多種多様な種目を用意している。27年度は加盟団体が37になり、参加者を増やしている。		【再掲】		【再掲】	17

2. これまでの取組の実績と評価 参考資料
(2) 実現化方策

◎実施・実施後継続中
○事業の一部を実施・実施後継続中
★完了(実施後継続を伴わないもの)
■検討・研究中
▲未着手

◎実施・実施後継続中
○事業の一部を実施・実施後継続中
★完了(実施後継続を伴わないもの)
■検討・研究中
▲未着手

【第4章】実現化方策		スポーツ振興計画 事業概要	所管課	平成27年9月4日付け照会結果			令和3年4月7日付 照会結果				
				実施状況		進捗 状況	実績の評価と今後の取組	平成27年度～令和2年度の実績 (2015年度～2020年度)	進捗 状況	実績の評価と今後の取組	
				平成20年度の状況	平成21年度～26年度の実績						
(2) 安心してスポーツを楽しむための支援											
①スポーツ教室・人材の派遣制度の充実											
1	野外活動サ ポートスタッ フ (再掲)	キャンプ、自然観察、アウトドアス ポーツなどに興味・理解がある方を対 象にサポートスタッフとして登録を行 う制度。野外活動センター主催事業や 市の開催するキャンプ事業、市立小中 学校のセカンドスクール等の運営・補 助業務を行います。	武蔵野生涯 学習振興事 業団	【平成19年度】 登録者数 37名 講習会 7回 応募者数 85人 参加者数 85人	野外活動をサポートするため、年間10回前後の講習会を実 施し、スタッフを育成している。	◎	アウトドアは人気があり、様々な活動を支援するため今後 もサポートスタッフの育成事業を継続していく。	野外活動をサポートするため、年間10回前後の講 習会を実施し、スタッフを育成した。	◎	毎年各種事業運営に協力してもらっているが、登 録スタッフの平均年齢が上がってきているため、積 極的に若者向けの広報を行ってきたい。	18
2	出前講座	健康づくり人材バンクが市民の要望に 応じて地域に出向いて、各種健康づく り講座を実施します。	健康づくり 支援セン ター	随時	継続実施。 平成26年度より「健康づくり出前講座」に名称変更。	◎	市民等が健康づくりに触れる機会とし、意識変容を促すこ とを目的として今後も実施する。健康づくり推進員によるP R等により、新規獲得に力を入れている。平成27年度は件 数が前年度の3割増程度となる見込み。	利用団体にニーズ調査等も行い、より利用しやす い事業になるよう見直し改善等を進めた。元年度 からは健康づくり応援パートナー店も実施対象とし た。	◎	「新規団体獲得増」を重点目標に掲げ、実施に向 けたアプローチを推進していく。あわせてオンライ ンで対応できるプログラムを増やしていく。	19
②スポーツ障害の予防・安全対策											
1	スポーツ健康 相談	医師会から派遣されたスポーツドク ターによる健康相談を行います。	武蔵野生涯 学習振興事 業団	【平成19年度】 開催数 20回 利用者数 66名	医師による相談事業を実施していたが、平成27年度に休 止。	○	新しい相談事業の実施を予定している。	平成27年4月に医師による相談事業を実施した が、5月以降は休止した。平成28年度から柔道整 復師による「スポーツの痛み相談」を実施したが、 平成29年度～30年度は休止した。令和元年度より 管理栄養士による「食事と健康相談」を実施した。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に より休止した。	○	スポーツ愛好者や子育て中の母親に向けた相談 事業が実施できた。今後も継続して実施予定。	20
2	健康相談・食 事相談	健診の結果の見方や生活習慣病予防に ついて、医師や歯科医師、管理栄養 士、保健師がアドバイスをを行います。	健康課	保健健康相談年12 回 食生活健康相談年 12回 定員各5名程度	* 食生活健康相談はH22年度に健康相談と統合。 参加実人数 H21→33 H22→41 H23→53 H24→42 H25→58 H26→51	◎	心身の健康および食生活に関する個別の相談に応じ市民 の健康管理に資することを目的として実施している。スタッ フも多く時間枠が長いので、参加者の満足度は高いが予 約枠に対し稼働率は約6割である。平日午後の事業であ り、健康増進法の本来の対象者である40～64歳より65歳 以上の市民の利用が多くなっていることから今後の事業 の方向性も検討していく必要がある。	参加人数 H27→46、H28→38、H29→37 H30→50、R1→37、R2→43 ※事業名、事業概要変更	◎	令和元年度から事業名を「健康相談・食事相談」に 変更。相談内容で特に多いのは脂質異常で、糖尿 病、肥満と続く。 相談総数は定員に対して少ないが、来所された相 談者はゆっくり相談が受けられ、実践しやすい具 体的なアドバイスが概ね好評である。平日午後の 事業であり、健康増進法の本来の対象者である40 ～64歳より65歳以上の市民の利用が多くなってい ることから、今後も事業の方向性を検討していく必 要がある。	21
3	事故等への対 応	安全で安心してスポーツ活動ができるよ うに施設の適正管理と対応職員の研修 を随時行います。	武蔵野生涯 学習振興事 業団	【平成19年度】 上級救命技能認定 証所持職員 20名 救急車要請16件 他	武蔵野生涯学習振興事業団の職員は、随時研修や訓練を 実施し、適正に施設の管理・運営を行っている。	◎	今後も市民の方が安全で安心してスポーツ活動ができる ように、継続していく。	上級救命講習の定期的更新と、年間の研修計画 で年2回の消防訓練を実施した。	◎	随時研修や訓練を実施することにより、適正に施 設の管理・運営を行うことができた。今後も市民の 方が安全・安心にスポーツ活動ができるよう継続し ていく。	22
③スポーツ施設の適切な管理・運営											
1	適正な管理	定期的な施設や設備、備品の維持管 理、更新などを行います。	武蔵野生涯 学習振興事 業団	各種点検の実施と 必要な修理、更新 を実施。	維持管理に必要な各種点検の実施と必要な修理、更新を 実施。	◎	今後も定期的な修繕と備品の更新を実施していく。また施 設や備品の老朽化等課題に向けても検討していく。	施設を安全に利用できるよう、主管課と連携し速 やかに修繕や備品購入を実施した。また、陸上競 技場更衣室・ダッグアウト、プール更衣室・ロッ カー、柔剣道場照明器具(LED化)、Wifi(総合体 育館)、バスケットゴール(メイン・サブアリーナ)、 アーチェリーの等の更新及び新設を実施した。	◎	定期的な施設の維持管理、更新を実施するこ うできた。 今後も主管課と連携して、設備・備品の維持管理 を的確に実施する。	23
			生涯学習ス ポーツ課	大型スポーツ用具、卓球台の買替や、プールには障害者専 用の更衣室に着替え介助のためのベッドを設置し、異性介 護用に新たな更衣室も整備した。		◎		プールフロア、人工芝、サッカーゴール、ハード ル、走高跳用マット、棒高跳用マット、バスケット ボール用ゴールなどを更新した。 総合体育館と温水プールについて、今後の施設整 備に備えて令和元年度に老朽化調査を行った。	◎	引き続き、適切に備品を管理・更新していく。総合 体育館については計画的に大規模工事を進めて いく。温水プールや屋外プールについては、今後 のあり方について検討が必要である。	24
2	施設の改修	経年劣化に伴う施設の改修を行いま す。	武蔵野生涯 学習振興事 業団	(記載なし)	施設の各種点検の実施と必要な修理、更新を実施してき た。陸上競技場の第3種公認検定に必要なフィールド(芝) 及びトラック等の改修工事を実施し、更新をした。	◎	平成元年にオープンした総合体育館等は、今後、施設の 経年劣化などの課題に向けて、定期的な修理の他に、計 画的な改修の検討が必要である。	施設の各種点検の実施と必要な修理、更新を実 施してきた。平成30年度陸上競技場の第3種公認 検定に必要なトラック等の改修工事を実施し、更新 をした。また、総合体育館地下受水槽、サブアリー ナ空調、ストリートスポーツ広場滑走面等の改修を 実施した。	◎	故障や劣化に伴う施設の改修を速やかに実施す ることにより、安全・安心に施設を利用してもら うことができた。 今後も市の各部署と連携して、施設修繕を計画的 に実施する。	25
3	東京国体に向 けた施設改修	随時、平成25年開催の東京国体に向 けた施設の改修を行います。	生涯学習ス ポーツ課	(記載なし)	国体開催前の平成23年度に、メインアリーナの空調設備、 音響設備、メイン・サブアリーナの床など必要な改修を実施 した。	★		—		—	26